

ライオン学校伝書鳩通信

～信じられないほどの成長～



この頃、支援の度に子どもたちの成長に驚かされてばかりの私たちですが、今回も 3 年間で一度も見たことのない子どもたちの信じられない成長した姿を見ることが出来ました。

なぜライオン学校に来続けるのか？

以前報告したように(平成 26 年 5 月 25 日発行「3 度目の春を迎えて」)部活があったり友達と遊んだりする子が多く、今回の支援も以前から参加している子の人数は昨年度の半分程度でした。しかし、今回は数人の子が友達を連れて来ました。そのうち一人は、私たちに今までほとんど学校の友達の話をし、普段からライオン学校の下級生と遊んでいる様子の子で、今回初めてライオン学校の活動に学校の友達を連れてきました。その子は連れてきた友達と途中でケンカをしてしまいましたが、大人が間に入らなくても自然と仲直りし、楽しそうに遊びを再開しました。その様子を見て、学校の友達とも良い関係が作れているのだと感ずることができました。また、中には一度ライオン学校に顔を出し少し話してから友達のところへ遊びに行った子もいました。このように今では多くの子がライオン学校の外にも「大切な場所」を見出すことが出来る様に思えます。では、なぜ子どもたちは、ゲームもできない、行動を注意されることもあるライオン学校に来るのでしょうか？今では子ども一人ひとりによってライオン学校の必要性が大きく異なると感じます。したがって、なぜライオン学校に来続けるのかという答えも子どもによって異なると思っています。子どもたちが家や公園で友達と遊ばず、ライオン学校に友達を連れてくるのは、私達に友達を紹介したいからかも知れませんが、友達とも遊びたいしライオン学校にも行きたいから連れて来たのかも知れません。その理由を考えることによって連れて来た友達をどの程度活動に参加させるかを決められるのではないかと思います。このように、なぜライオン学校に来続けるのかの答えを考えることが活動やこれからの支援の方向性を示してくれるのではないかと考えています。



お楽しみ会開催に向けて

以前から、いつもの使わせていただいている仮設の集会所を離れ、子どもたちが主体になって企画・運営するお楽しみ会を行いたいと考えていました。子どもたちが企

画・運営することでお互いを信頼し、協力して物事を成し遂げる力を伸ばすことが目的です。それと同時に、子どもたちの中に築かれている繋がりが万石浦という地域で生きていくうえで困ったときにお互いを支えあえるような繋がりになることも期待しています。

前回の支援のとき、子どもたちにお楽しみ会をするのはどうかと提案しました。すると子どもたちは「北海道!」「大阪!」「東京!」と、自分が行きたいと思う地名を次々に挙げていきました。しかし予算の関係上、宿泊や遠出はできません。そのことを伝えると、子どもたちは文句を言うこともなく、予算の範囲内でできそうなことは何かという話し合いを始めることができました。その話し合いでは、自然と小学 6 年生 2 人が中心になって進めてくれました。そして「牡鹿半島で釣りがしたい」や「バーベキューがしてみたい」という意見が出て来ました。さらに、日程について日曜日はみんな予定があることが多いので土曜日にしようという意見が子どもたちから出て来ました。そして 11 月にライオン学校の先生方も呼んでバーベキューを行うことにしました。

今回の支援ではお楽しみ会が 11 月ということでより具体的に多くのことを決める必



要があり、今回の支援だけで話し合いが終わるか心配がありました。しかし、その心配も話し合いが始まるとすぐに無くなりました。それは、子どもたち全員が円になり関係ない話をせず話し合いが行われたからです。去年までは、話し合いのときなかなか全員が座ることすらできなかった彼らが、今では円になり話し合いをしています。信じられません。そんな姿 3 年間で一度も見たことがありませんでした。まずバーベキューの材料から話し合いました。この日来ていた子どもたちは全員バーベキューをしたことがなく、インターネットでバーベキューの画像を調べる子もいました。その話し合いでは、小学生の男の子がどんどん意見を出してくれました。その子は、以前は手を挙げてても全然関係ないことを発表することが多くありましたが、この日はそれとても少なかったです。大きな成長を感じるとともに「どうしちゃったの?」と心配になるほどです。そして、その男の子が出してくれた意見の中でも高価なため今回のバーベキューには適さないものは中学生が指摘し、中には代替案を出してくれる子もいました。そのようなとても建設的な話し合いのおかげで私たちスタッフはほとんど介入することなく、バーベキューの材料やレクリエ

平成 26 年 10 月 14 日発行

ーションについて決めることが出来ました。次の支援はお楽しみ会です。お楽しみ会では子どもたちがどんな成長した姿を見せてくれるかとても楽しみです。

【活動記録】

支援メンバー

(10月4日・5日) 今井美里、大林沙紀、藤原弘輝、甘利悠貴

寄付を頂いた方(8月10日～10月13日)敬称略

石川和友

！寄付のお願い！ 継続的な支援のために、お願い致します。寄付を頂きました際には、お手数ですが右下記連絡先までご一報お願いします。

ゆうちょ銀行

店名:〇五八店(ゼロゴハチ店) 店番:058

番号:普通 3385189

ライオン学校(ライオンガッコウ)

※ゆうちょ銀行からの振込の場合

記号:10510 番号:33851891

グループ名:ライオン学校

TEL: 080-6554-8762(代表:今井)

Email: info.lionschool@gmail.com

